令和７年度事業報告

１．　概　要

我が国では少子・高齢化が進む中、日本を支える労働力の不足が大きな社会問題になっています。そのような中で、高年齢者が長年培ってきた知識や経験を生かして、活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっており、シルバー人材センターが果たすべき役割も大きくなっています。

また、当年度は、海外で頻発する戦争や紛争等の影響による原油や諸物価の高騰をはじめ、インボイス制度への対応、最低賃金の上昇等、シルバー事業運営にとっても大きな影響のある事象が多く発生致しました。

このような社会情勢の下、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づいて、大山崎町をはじめとする関係当局の支援や各種団体、民間企業及び一般発注者の協力を得ながら、会員の拡大、就業機会の確保、適正就業の推進等々に努め、事業計画に沿ってシルバー事業の運営に取り組んで参りました。

その結果、当年度の事業実績は、請負事業の受託件数は、前年比３．１％減の１，４４２件となりましたが、就業延人員では前年比１１．４％増の２６，３３３人日に、また、会員の就業率は前年と同率の８７．６％となりました。そして、契約金額は、前年比１６．６％増の１２６，２１８，２４１円となりました。

会員数については、前年比１０．７％増（２５名増）の２５９名となりました。

一方、安全・適正就業につきましては、「安全はすべてに優先する」「安全なくして就業なし」を念頭に置き、取組みを致しましたが、残念ながら自損・物損、また軽微なものを合わせて１３件の事故が発生致しました。

以下、主な事業の実施内容についてご報告します。

２．　重点施策実施内容

（１）会員拡大

①京都府シルバー人材センター連合会のご協力を得て、大山崎町発行の「広報おおやまざき」５月号から３月号に会員募集に関する有料広告を掲載しました。

②草刈り及び植木剪定の就業中の現場で、会員募集中と安全就業の「のぼり旗」を掲揚し、ＰＲに努めました。また、シルバーの日に合わせて、清掃ボランティア活動による啓発活動を行いました。

③就業体験会を開催し、新規会員の勧誘に努めました。

④既会員の配偶者様の会員登録の推進の第一弾として、既会員の皆様に「会員拡大に向けてのご協力のお願い」を継続しました。

⑤日常的な会員拡大活動として、掲示板の活用、口コミ活動、「１人１会員入会運動」等々の入会促進活動を継続しました。

⑥地域のサークル、活動団体に対して事業の案内・周知を図るとともに、人材の発掘に取組みました。

⑦女性を対象としたものを含め、相談会を恒常的に開催するとともに、電話、スマートフォンによる勧誘に努め、人材の発掘を図りました。

⑧２月に会員募集チラシを全戸配布致しました。

（２）就業機会確保・拡大

①大山崎町、各種団体及び民間企業からの受託事業の拡大を図るために、恒常的に訪問活動、電話連絡を行い、就業実績の拡大に繋げる努力を継続しました。

（３）安全・適正就業の推進

京都府シルバー人材センター連合会による安全・適正就業推進大会への参加、当センターの安全・適正就業委員会の開催、安全パトロールの実施、草刈機安全講習会の実施、安全就業指導員会議の聴講等を通して、会員の安全・適正就業に向けて取り組みました。

また、作業中の事故対策として、

○熱中症対策を励行しました。（スポーツドリンク・塩分タブレットの供給、定期的な休息、８月の全作業中止等）

○就業前の安全確認、防御ネット強化に努めました。

○草刈り機、剪定作業の安全講習を継続実施しました。

○高所、危険作業を禁止しました。

○安全パトロールを強化しました。

（４）会員の満足度の向上

京都府最低賃金を踏まえ、次年度に向けて請負契約配分金及び事務費の増額に取り組みました。

（５）福祉・家庭援助サービス事業

当該サービス事業の受託増加に伴い、サポートが必要とされる方への生活支援の充実を図るため、会員のご協力の下、当該サービス事業の体制を整えるべく準備を継続しました。

（６）事業運営の基盤強化

年末調整説明会、補助金業務担当者会議及び改正公益法人制度についての研修会等に参加し、他シルバー人材センターとの交流を含め研修会、講習会に積極的に参加して、事業運営を行うための基盤強化に取り組みました。

（７）重点目標に対する実績

当年度の実績は次の通りとなりました。

	当年度事業目標	**当年度事業実績**
就　業　率	８３％	**８７．６％**
会　員　数	２３２名	**２５９名**
就業　実績	１９２名	**２２７名**
安全　就業	事故ゼロ	**１３件**